

日赤にいがたNEWS

N I S S E K I N I I G A T A

令和4年3月

発行
.....
地域の中の
赤十字特集



CONTENTS

3月号のテーマは「**地域の中の赤十字**」です。
赤十字が平時に行っている活動をご紹介します。
あなたの知っているあの人も登場するかも…?!



長岡市立大島小学校より「総合的な学習の時間で、義援金について学んでいる子ども達の疑問を解決してほしい」との依頼があり、出前授業を行いました。授業では赤十字の活動や義援金とは何か、災害が起きるとどうなるのか等、子ども達の疑問についてお話ししました。子ども達からは「被災した人の状況や義援金の行先がわかって良かった」「自分にできることとして1円でも多く募金したい」といった感想が寄せられました。



赤十字ってなんだか遠い存在...

災害とか献血・病院のイメージが強くて、普段はどんなことをしているのかな...?

日本赤十字社新潟県支部は、赤十字奉仕団の皆さんと一緒に、県内各地で活動をしています。実は意外と身近なところに赤十字の活動はあるんですよ。



地域に根差した活動とは？

地域で活躍する奉仕団



地域奉仕団

「赤十字のボランティア活動を通じて地域に貢献したい」という思いを持った方々によって、市区町村ごとに組織されています。地域での防災訓練や炊き出し、高齢者施設でのお手伝い、赤十字のPR活動などを行っています。



炊き出し訓練を行う妙高市赤十字奉仕団



地域のイベントで赤十字をPR

青年赤十字奉仕団

おおむね18歳～30歳の社会人や学生などで組織されています。新潟県内では、大学生や専門学生を中心に、献血の呼びかけ、災害義援金の募集など、「自分たちでできることは何か?」を考え、様々な活動に取り組んでいます。



高齢者の支援方法や災害時の対応などを学ぶ研修会で、真剣に学ぶ学生たち



大学生ボランティアが高齢者と交流し困りごとを解決するために「スマートフォンの使い方講座」を開催

特殊赤十字奉仕団

様々な専門技術を生かして活動するボランティアグループです。いのちと健康を守るためのAED等の講習会、お祭りやスポーツ大会などでの救護活動をはじめ、点訳の技術を生かした点訳奉仕団等、得意分野を生かして地域に貢献しています。



講習会ではわかりやすく丁寧に技術や知識を伝えています



新型コロナウイルスワクチン接種会場で誘導のお手伝い

教育現場への支援



日本赤十字社は、応急手当や講習以外にも学校での出前授業等を行っています。新潟市立曾根小学校から依頼を受け、キャリア教育の一環として出前授業を行いました。授業では赤十字の活動紹介や仕事に就いたきっかけ、支部職員の国際活動での体験談等をお話しました。



佐渡で行われた赤十字シンボルツリー「イトスギ」の植樹式

授業の中で子ども達から受けた質問を一部紹介します

この仕事ではどんなことが大切ですか？

赤十字には、7つの基本原則があります。人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性です。その中でも赤十字の使命に表れているのが人道の精神。あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する気持ちを忘れないようにしています。



災害が起こったとき、どんな思いで被災地へ行くのですか？

苦しんでいる人をひとりでも多く救いたいという思いや、被災された方々のお役にたてればという気持ちを持って被災地へ臨みます。

この仕事のやりがいは何ですか？

少しでも苦しんでいる人を救うための活動ができることです。

そのほかの質問はこちらから



点訳奉仕団が緑綬褒状を受章

令和3年秋、新発田点訳奉仕団まどかグループの皆さんが、自ら進んで社会に奉仕する活動に尽力した団体に贈られる「緑綬褒状」を受章されました。おめでとうございませす！



小学校で点訳を伝える活動も

点訳奉仕団は昭和30年代から今日に至るまで、文字を点字に翻訳する点訳を通じて、目の不自由な方に寄り添った活動を続けています。

皆さまのご寄付が唯一の活動財源です。

日本赤十字社は公平で中立な活動が求められるため、国や県から補助を受けることなく県民の皆様からのご寄付のみで活動を展開しております。今後もいのちを救うための赤十字活動が行えるよう、皆さまからの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



地域のために精力的に様々な活動を行っている
山本貴美子さんにお話を伺いました。



新潟市西区地区赤十字奉仕団委員長
山本 貴美子さん



赤十字奉仕団員になった きっかけは何ですか？

赤十字との関わりは町内会長になったことがきっかけですが、奉仕団の研修を受けて、赤十字の「苦しんでいる人を救いたい」という思い・理念に感銘を受けました。私がしてきた活動は赤十字の理念に通ずるところがあるなど感じています。町内での寄付募集も担っていますが、活動がわからないと寄付にはつながりにくいと感じています。例えば、黄色い交通安全帽も赤十字の事業の一つなのに、あまり知られていない。わかりやすい広報を、支部にはお願いしたいです！



地域でどのような 活動をされていますか？

私は母の影響で、料理が大好き。地域で開いている子ども食堂では、ボランティアの学生と一緒に料理を作ったり、子どもたちに卵焼きをふるまっています。私の作る卵焼きは大人気なんです。他にも、校区内の女性の人材を生かした「女性支援隊」のリーダーとして、非常食の炊き出し研修を行ったり、町内のセーフティスタッフとして子どもたちの見守りをしたり等々、幅広く携わっています。また、近年ではコロナウイルスの影響で実施できていませんが、西区奉仕団ではイベントに合わせてPR活動やプチ講習会等を行っています。

子ども食堂
の様子



セーフティ
スタッフ
として

過去の
西っこふゆまつり
の様子



山本さんが大切にしている ことを教えてください。

私の原点は町内。地域のために活動してきました。いつも心にあるのは、「見返りを求めるのではなく、人のためになることを。」そして「いろいろな方に支えられている感謝の気持ちを忘れない。」ですね。

子どもたちや地域の人たちと一緒に成長していく、これはお金に変えることのできないかけがえのないものです。



地域で活動してみて感じることと、 今後の課題を教えてください。

新潟市の呼びかけで、東京で行われた男女共同参画の研修会に市の代表として出席したことがあり、大変名誉なことでした。新潟市でも、沢山の女性の町内会長さんが活躍し、女性パワーを大いに発信していただきたいと思います。



インタビュー
を終えて

「人のためになることをしたい!」と終始優しく元気に語る姿は、とても輝いていました。秘伝の卵焼きを食べたことがある人は、ラッキーですね!山本さんのような方をはじめとした、たくさんの方々に赤十字は支えられていることに改めて感謝いたします。

